土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川 安芸矢野下川外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

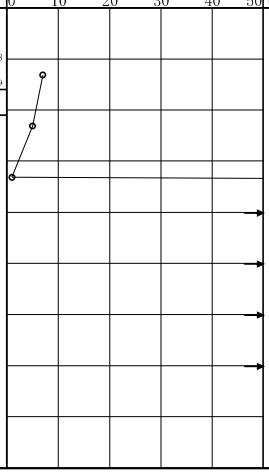
調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-1-No.2	**調査位置**	広島市安芸区矢野南四丁目地内					**北緯**	34° 20′ 11.7378″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2020年 10月 28日 ～ 2020年 10月 29日			**東経**	132° 31′ 52.7868″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 123.91m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	
試錐機	YBM-05D								
総削孔長	7.00m	**エンジン**	ヤンマーNFD-7	**ポンプ**	MS-513				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	123.31	0.60		礫混じり砂		褐			新生代第四紀	φ=5～50mmの亜角礫を10～20%混入。基質は未固結なシルト混り極粗粒砂～中礫よりなる。含水は小である。	
1	122.16	1.75		玉石混じり砂礫		褐灰	rd2			L=7～10cmの玉石と，φ=5～60mmの亜角礫～亜円礫を50～70%混入する。基質は未固結なシルト混り中礫～極粗粒砂よりなる。含水は小～中位。	10/28 1.60
2	121.36	2.55		砂礫		褐灰	rd2			φ=5～40mmの亜角礫～亜円礫を30～50%混入する。基質は未固結なシルト質極粗粒砂～中礫。含水は中位。	
3	120.46	3.45		礫混じりシルト質砂		緑褐	rd1			φ=10mm以下の亜角礫が点在するシルト混り粗粒砂～中粒砂よりなる。含水は中くらいである。	
4	118.71	5.20		風化花崗斑岩		淡赤灰			中生代白亜紀	短柱状コアを主体とする。ハンマー軽打で金属音（一部濁音）がする。岩石組織は明瞭であるが，亀裂沿いのみ褐色化している。低角度亀裂が5～15cm間隔で発達している。CL級岩盤。漏水はない。	
5	117.96	5.95		花崗斑岩		淡赤灰				長柱状コア。ハンマー軽打で金属音がする。岩石組織は明瞭である。CM級岩盤。漏水はない。	
6	117.26	6.65		風化花崗斑岩		淡灰				短柱状～片状コア主体。ハンマー軽打で金属音し岩石組織は明瞭である。低角度亀裂が5～15cm間隔で発達している。CL級岩盤。漏水はない。	
7	116.91	7.00		花崗斑岩		淡灰				長柱状コア。ハンマー軽打で金属音がし岩石組織は明瞭。CM級。	
8											

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	3	2	2	7/300		
	1.45						
5	2.15	1/80	2/120	2	5/300		
	2.45						
1	3.15	1/300			1/300		
	3.45	貫入不能			50/0		
	4.00						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				10/28
				10/29